

横浜若葉台再生マスタープランと都市計画変更支援業務

・横浜若葉台は、フランス・トゥールーズ・ル・ミライユや高蔵寺NTをモデルとし、ワンセンターから歩車分離によるペDESTリアンデッキが伸び、保全された緑地・自然環境と有機的な関係を構築しながら、住区内に点在する多様なレクリエーション施設等を連結させた、弊社の計画技術を代表するニュータウンの1つである。

・昭和54年から入居が開始され、旺盛な住民活動とともに時代の要請を受け、これまでに4回の「一団地の住宅施設」の変更を行ってきた。今般、弊社が策定支援した、地域団体による「横浜若葉台みらいづくりプラン（H29.3）」では、今後の少子・高齢化社会に向けた土地利用再編と未利用地の用途転換が提言され、引き続きその実現化に向けた都市計画変更支援業務を実施した。

・変更により、多様な用途の導入によるセンター地区の強化、未利用地における新たな医療・福祉機能の導入、高齢・子育て世帯に向けた身近な福祉拠点やロードサイド型施設の立地などが可能となり、地域住民による新たな時代に向けた街づくりがスタートしている。

所在地	神奈川県横浜市旭区
発注者	神奈川県住宅供給公社
敷地面積	89.5 h a
用途	一団地の住宅施設
工期	平成30年3月～平成31年3月